

調達管理番号・案件名

24a00753_アフリカ地域(広域)気候変動適応策支援強化のための情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2024年11月28日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	1	第1章 企画競争の手続き 1. 競争に付する事項 (4)契約履行期間(予定)	契約履行期間(予定)が2025年1月～2026年3月」となっていますが、P12の「(5)適応策支援強化に向けた方針の発信」のTICAD9サイドイベントは2025年8月に開催予定だと思います。TICAD9サイドイベントの開催から履行期間の終了まで約7か月ありますが、この約7か月の期間ではどのような活動を想定されていますでしょうか。	TICADサイドイベント後は、同イベントの結果も踏まえ追加的に必要となる情報の収集・整理を行うことを想定しております。
2	10	第2章 特記仕様書案 第3条 調査実施の留意事項 (2)調査対象国」	(2)調査対象国 に「(東部・南部・中西部からそれぞれ1カ国以上想定)」との記載がありますが、東部、南部、中西部の範囲を教えてくださいませんか。	以下のとおりになります。現地調査対象国は、契約開始後に、JICAと相談の上で決定することになります。 <東部>ケニア、ルワンダ、スーダン、南スーダン、タンザニア、ウガンダ、エチオピア、ジブチ <南部>モザンビーク、アンゴラ、マダガスカル、南アフリカ、ボツワナ、ナミビア、ジンバブエ、ザンビア、マラウイ <中西部> ナイジェリア、ガーナ、シエラレオネ、セネガル、ブルキナファソ、ニジェール、コートジボワール、ベナン、コンゴ民、カメルーン、ガボン
3	10	第2章 特記仕様書案 第4条 調査の内容	「情報収集の方法としては、各国のNDCやNAP等に加え、報道されている情報や必要に応じて各国の気候変動対策フォーカルポイント機関へのヒアリングを行い、最新情報の入手に努める。」とありますが、こちらは28か国を対象とした記載でしょうか。それとも28か国から絞り込まれた国(東部・南部・中西部からそれぞれ1カ国以上を想定)に係る記載でしょうか。	サブサハラアフリカ28か国を対象としております。
4	11	第2章 特記仕様書案 第4条 調査の内容 (2)適応策支援強化の方向性	「2-3 各国の支援状況」とは、他ドナーによる各国への支援状況という意味になりますでしょうか。	ご理解のとおりです。
5	12	第2章 特記仕様書案 第4条 調査の内容 (4)適応策支援強化に向けた方針と協力内容の検討	「上記(1)～(3)を踏まえて、適応策支援強化にむけた方針案を検討するとともに、サブサハラ地域の国における協力内容の提案を行う」とありますが、ここでの「サブサハラ地域の国」とは28か国から絞り込まれた国(東部・南部・中西部からそれぞれ1カ国以上を想定)という理解でよろしいでしょうか。	現時点の想定としましては、適応策として重要なセクターを2～3個特定し、特定した各セクターにおいて、28カ国の中から、(各国の協力プログラムを踏まえつつ)対象として相応しい国を提案するというプロセスを考えております。

6	12	第2章 特記仕様書案 第5条 報告書等	進捗報告書には「第4条 調査の内容」の(1)～(5)のどこまでの記載を想定されてますでしょうか。進捗報告書の提出期限の変更を提案することは可能でしょうか。	進捗報告書においては、主に(1)及び(2)の調査結果をまとめていただき、それをもとに現地調査対象国を選定することを想定しております。進捗報告書には、現地調査対象国を選定するために必要な情報をまとめていただければと考えております。
7	15	第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件 (2)業務量目途	プレ公示では業務量目途として約14人月との記載がありましたが、本企画競争説明書では約11.17人月となっております。プレ公示からの変更の背景について教えていただけないでしょうか。	業務内容を精査した結果、変更させていただきました。
8	19	(6)旅費(航空賃)について	本件では「現地調査航空賃に係る経費」が定額計上の対象経費とされています(仕様書P18)。一方で、航空賃の計上についても指示があります(仕様書P19)。現地調査にかかる一切の航空賃は定額計上と理解し、見積書への計上は不要との理解で良いでしょうか。	ご理解のとおり、現地調査にかかるすべての航空賃を定額計上としてください(見積書への計上は不要です)。

以上